

目黒労協 2016夏季闘争ニュース

No. 16-08 2016年7月1日

発行: 目黒地区労働組合協議会/教宣部

【HP】<http://home.g01.itscom.net/union/>

メール union@r05.itscom.net

戦争はごめんだ!いのちを守るハレトと講演会

6月7日、200名の市民と労働者が参加!

6月7日、『戦争はごめんだ!いのちを守るオールめぐろの会(準備会)』の主催による、パレードと集会が行われ、200名の労働組合員と市民が参加しました。『オールめぐろの会』は、区内在住&在勤の個人や、労働組合・区民団体などからの個人参加で賛同者を募り、構成しており、その賛同趣旨として『～総がかり行動実行委員会の目黒版をめざす～』としています。当日は菅刈住区センターから目黒区民センターホールまで、サウンドカー先導でのパレードを行ったあと、九条の会事務局長・小森陽一さんが講演を行いました。



実現しよう！全国一律最低賃金制度

第二次最賃デー＆最賃共同宣伝



6月17日、夕方の中目黒駅、東京春闘共闘の“最賃デー”に呼応し、目黒区職労・土建目黒支部・目黒労協などによる、最賃での地域合同宣伝が行われ、組合員17名のみなさんが参加しました。ハンドマイク宣伝、チラシ入りティッシュ配布とともに、“最賃引き上げ署名”も実施、『署名します』と協力して下さる方もありました。7月も中央の最賃デーに合わせ、27日に中目黒駅で予定していますので、引き続き多くの方のご参加をお願いします。

【霞が関周辺での中央行動に参加して】

朝は恒例の東京労働局前宣伝、10時より労働局要請行動、東京地方最低賃金審議会は7/4開催予定とのこと。審議公開、傍聴席拡大、意見陳述の場の設定などを要請しました。

その後、厚生労働省前集会に合流。昼には人事院前集会となります。（目黒労協/議長）



6.5全国総がかり大行動

in 国会周辺

6月5日、『明日を決めるのは私たち一政治を変えよう！6・5全国総がかり大行動』が、全国で取組まれ、国会周辺3会場では約4万人が参加。冒頭、山口二郎法政大教授が『選挙の争点は憲法にある。後戻りのできないところまで来ている』と訴えました。野党からは民進、共産、社民3党幹部が参加し、民進の枝野幸男幹事長は『（憲法改正という）争点を隠している』と与党を批判。学生・市民と野党の連帯を呼びかけた。



会場には『市民が変える、選挙を変えよう』『政治を変えよう、市民が変えよう』などのプラカードが、多く掲げられていました。会場のあちこちには、目黒から参加した人たちも、多く出会いました。

地域での共同の取り組み

目黒社保協 年次総会

5月27日、目黒社会保障推進協議会(社保協)の2016年度総会が、さくらプラザで行われ、次年度の取り組み方針・予算・役員体制を、参加者全員の賛成で承認しました。総会での基調講演は、『国民の期待を裏切らないで！2020年オリンピック・パラリンピック』を、新日本スポーツ連盟東京の萩原純一/理事長にお話をいただきました。



国立競技場問題、エンブレム問題、ふくれあがる総経費など、オリンピックがらみで不祥事があっても、誰も責任を取らない。競技場整備の問題や、選手村用地の大手企業払い下げ問題など、引き続き『オリンピック・パラリンピックを考える都民の会』で、組織委員会に申し入れを行っていることなど、大変興味深いお話しでした。



考えようと、企画されたものです。加盟団体の人たちだけでなく、市民連合の方たちも多く参加いただいていたいました。

社保協、シールズ上映会

6月24日、目黒社保協の主催により、映画『わたしの自由について～SEALDs2015』の上映会が、めぐろパーシモン小ホールで開催され、約60名の参加がありました。参議院選挙が始まったばかり、戦争法や原発の再稼働・社会保障の問題などについて、自分たちのこととして

明るくすみよい目黒をつくる連絡会

6月28日、“明るくすみよい目黒をつくる連絡会”の2016年度総会が開催され、あわせて学習会も行われました。学習会は『18歳選挙権が認められた今、高校生の政治活動の制限は必要か』と題し、郵便局やファーストフードでの非正規雇用で働き、『問う！高校生の政治活動禁止』の著書がある久保友仁さんが、お話をされました。久保さんは、子どもの権利条約の本質は、いわゆる『成長発達権』ではないかと定義、その観点から、過去および現状の『教育』に関わる問題点を指摘されました。



地域での共同の取り組み

医療生協 通常総代会



6月25日、中目黒スクエアにて目黒医療生協の、第49回通常総代会が開催されました。当医療生協には目黒労協より理事を派遣しており、また当日は来賓として、労協よりも執行委員が連帯の挨拶を行いました。総代会で松尾会長は、『厳しい経営環境の中、理事会でもいろいろ議論してきた。総代会では現状の認識を、みんなで共有したい』と発言し、活発な議論が交わされた総代会でした。